

## 令和2年度 武蔵野学芸専門学校 事業報告

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

(担当：校長 三上 慎之介)

### 1. 事業報告概要

本年度は、高等課程では多摩美術大学に3名、武蔵野美術大学に3名が合格するなど、両課程とも難関美術大学合格者を果たし、美術系進学校として大きく躍進した。また、新2号館建設、専門課程定員増を行ったことで、これから新しい武蔵野学芸専門学校として変化を続けるための1年であった。

#### (1) 令和2年度在籍数(令和2年3月18日現在)

(単位：名)

課程 学科	専門課程	高等課程	計	定員充足率	
	国際コミュニケーション学科	国際芸術学科		高等	専門
入学定員	60	40	100	-	-
収容定員	80	120	200	-	-
新1年生	39(内留学生29名)	19	58	47.5%	65%
新2年生	15	14	29	35%	75%
新3年生	-	19	19	47.5%	-
計	54	56	116	46.7%	67.5%

※令和2年4月より専門課程入学定員40名の定員増加によって、入学定員60名、収容定員80名

※5年連続適正校。留学生受け入れは1/2枠を遵守

### 2. 主たる教育施策

#### (1) 文化活動と地域とのアートコラボレーション活動

##### ①武蔵野学芸美術教育研究所 第二回研究会実施(9月)

専門課程、高等課程活動報告、及び授業での多重知能理論成果発表

##### ②吉祥寺アトレにて「武蔵野学芸 わたしたちが見た吉祥寺展」実施(2月)

H30から2年連続で吉祥寺アトレ(駅ビル)全面協力による展覧会を実施。

##### ③三鷹中央通り商店街主催の「三鷹ふれあい夏祭り」に子供造形教室開催(7月)

50名以上の子供達が参加し、学生ボランティアとともにワークショップを開催。

##### ④東京消防庁主催「はたらく消防写生大会」武蔵野市審査協力(5、11月)

2年連続で地域コラボの一環として審査、表彰を武蔵野市消防署に協力。

##### ⑤「日中韓児童絵画展」運営ボランティアを教員、学生、生徒で実施(12月まで)

##### ⑥武蔵野学芸専門学校卒業展(3月)

#### (2) 教育連携活動：東京芸大、多摩美など高専大連携授業を開講。

##### ①東京芸術大学サマーキャンプ(高等課程：8/21～8/23)

東京芸術大学取手校地にて2泊3日で実施する作品制作合宿。東京芸術大学としては本校と唯一高校との連携授業を行なっている特別合宿。

##### ②多摩美術大学 教授栗原先生特別授業(両課程：10/7～10/18)

今年度で4年連続開催している多摩美術大学との連携授業。栗原教授が実際に課題を考え、

指導、講評まで行う特別授業。

(3) 社会連携活動：講演会、特別授業を開講。

①ペーパーアーティスト「伊藤航」先生の講演会、特別授業（6月）

②佐藤美術館学芸部長立島恵先生による特別授業（7月）

博物館学授業、銀座ギャラリー展示見学ツアーを実施

③東北芸術工科大学 有賀三夏先生講演会（9月）

両課程学生、高校教員が参加してアートについて考えるセミナーを開催。

④漫画家 山口つばさ先生特別講演会（9月）

現在、講談社で連載している漫画家山口つばさ先生に「美術と漫画」についての高等課程の学生に向けて講演会を実施。東京芸術大学出身の異色の漫画家。

⑤漫画研究家 田中裕久先生特別授業（10月）

⑥アーティスト山口晃氏特別講演会、卒業制作講評会（10月）

世界的に活躍する山口晃先生に来校していただき 120 名以上が来場する講演会を実施。また、高等課程卒業制作作品を講評。

(4) 付加価値を高める美術教育

美術解剖学開講、アートセラピー開講、技法材料研究開講

(5) その他、報告事項

①武蔵野学芸専門学校新2号館竣工。

②専門課程が定員増により入学定員 60 名となる。

③R2 より専門課程にファインアート専攻（油絵クラス、日本画クラス）、デザイン専攻（グラフィックデザインクラス、イラストレーションクラス、デザイン総合クラス、企画理論クラス）の2専攻を設置。

また、高等課程では美大進学コース、イラストコース、ファッションコース、グローバルアートコース（WEB 学習との併修）の4コースを新たに設置し、募集ターゲットに沿った募集、授業展開を実施する。

④H31 より村松佑樹事務長、樋口理高等課程長が常勤として就任。

以上